2018 年 1 月 15 日

より先進的で存在感のあるデザインを備えた BMW の電気自動車「新型 BMW i3」を発売

- **新デザインのフロント/リア・バンパーを採用することで、街中での存在感を演出。**
- **マット加工が施されたクローム加飾を効果的に採用し、都会にも映えるモダンさと洗練さを演出。**
- **ヘッドライト、ターン・インジケーター全てに LED ライトを標準装備。**
- **新車登録から 8 年/走行距離 100,000km 以内のバッテリー保証。**

ビー・エム・ダブリュー株式会社（代表取締役社長: ペーター・クロンシュナーブル）は、航続距離約 400km を実現した電気自動車「BMW i3（アイ・スリー）」の新型モデルを、全国の BMW i 販売店にて、本日より販売を開始すると発表した。

BMW i3 は、「大都市における持続可能なモビリティ」を提供する BMW のサブ・ブランド「BMW i」の電気自動車として、2014 年 4 月に発売された。「設計から生産、販売に至るまで持続可能なモビリティを実現する」というコンセプトのもと、革新的な手法を様々採用している。量産車として初めて CFRP（カーボン・ファイバー強化樹脂）を基本骨格に採用し、徹底的な軽量化に挑戦すると同時に、大容量バッテリーを搭載することで航続距離 390km を実現し、都市型のモビリティとして、必要十分な性能を備えたモデルになっている。

今回発表の新型 BMW i3 は、より先進的で、存在感を主張するデザインを採用した。フロントには、横長の LED ターン・インジケーターと共に、ワイドな印象を強調する新しいフロント・バンパーを搭載し、LED ヘッドライトを全モデルに標準装備した。リヤも同様に、ワイドな印象を与える新デザインのバンパーを採用し、存在感のある直線に引かれたマット・クローム加飾が先進的な個性を主張している。サイドは、シルバーの加飾がフロントのピラーからルーフに沿って滑らかな曲線を描くように配置され、モダンで洗練されたデザインとなった。

メーカー希望小売価格（消費税込み）

モデル	希望小売価格
BMW i3 Atelier	**¥ 5,380,000**
BMW i3 Lodge	**¥ 5,800,000**
BMW i3 Suite	**¥ 5,950,000**
BMW i3 Atelier レンジ・エクステンダー装備車	**¥ 5,870,000**
BMW i3 Lodge レンジ・エクステンダー装備車	**¥ 6,290,000**
BMW i3 Suite レンジ・エクステンダー装備車	**¥ 6,440,000**

- 上記のメーカー希望小売価格は、付属品価格、税金（消費税を除く）、保険料、登録に伴う諸費用を含まない車両本体価格です。また「自動車リサイクル法」に基づく、リサイクル料金が別途必要となります。
- 右ハンドル仕様。

大容量バッテリーを搭載し、390km の航続距離を実現

新型 BMW i3 は、2016 年から採用している 33kWh の大容量リチウムイオン・バッテリーを搭載し、一回の充電走行距離は 390km*[1] を実現している。電気モーターによる後輪駆動式で、最高出力 125kW/170ps、最大トルク 250Nm を実現すると共に、時速 100km まで 7.3 秒*[2] で加速する。また、647cc の発電用エンジンを搭載したレンジ・エクステンダー装備車は、走行中にエンジンが電力を発電し、航続距離が更に 121km*延長され、合計で 511km*[1] の走行が可能である。さらに、新車登録から 8 年/走行距離 100,000km 以内で必要に応じたバッテリー修理を無償で提供するほか、3 年間は主要項目のメインテナンスなどを無償提供する「BMW i サービス・インクルーシブ」を全車標準装備とすることで、安心して長期保有可能なサービスを提供している。

*1: JC08 テスト・モードにおける試験値を元に算出。
*2: ヨーロッパ仕様車値（レンジ・エクステンダー装備車は 8.1 秒）。

公共充電サービスが利用できる「ChargeNow」サービスを提供

新型 BMW i3 を購入すると、従来モデルに引き続き、公共充電サービスを 12 ヶ月間無料で利用可能な「ChargeNow（チャージナウ）」が提供される。日本仕様の新型 BMW i3 は CHAdeMO（チャデモ）方式の急速充電に対応しており、約 45 分で 80%まで充電可能なため、外出時にも簡単に充電できる。普通充電の場合は、約 12～13 時間で満充電となる。

BMW i3 のインテリア・デザイン・パッケージについて

新型 BMW i3 は、インテリア・デザイン・パッケージとして、クールで洗練された印象の「ATELIER（アトリエ）」、モダンでナチュラルな「LODGE（ロッジ）」、上質かつ高級感あふれる「SUITE（スイート）」の 3 つをモデル・ラインアップに設定している。

- 「**ATELIER**」: ダークな色合いが印象的なアラガツ・グレーのシートと、シート横側とステアリング・ホイール上部に施されたブルーのアクセントによるコントラストにより、洗練された印象を演出している。また、天然素材のケナフ麻の繊維を採用したインスツルメント・パネルのベース・サポートとドア部分のパネルにより、ナチュラルな印象を加えている。

- 「**LODGE**」: ソラリック・ブラウンのウール地にナチュラル・レザーを組み合わせたシートを新たに採用している。インテリア・トリムに使用されるユーカリ材は、環境に配慮し、認証を受けた森林資源から調達され、漂白、染色、塗装などの加工を施さず、自然のままの質感が保たれている。これにより、モダンでナチュラルな印象を与えつつ、洗練された室内空間を演出している。

- 「**SUITE**」: なめし加工を施した暖かみのあるダルベルギア・ブラウンのレザーを、シートとダッシュボードに使用している。落ち着きのある色調のオーク材を使い、美しい曲線に仕上げられたインテリア・トリムとの組み合わせにより、上質かつ高級感あふれる室内空間となっている。レザーには、オリーブの葉の抽出液をなめし工程で用いることで、レ

ザー本来の柔らかさを損なわずに、しなやかな手触りと風合いを実現している。

充実したドライビング・アシスト機能を搭載

新型BMW i3は、先進的なモデルにふさわしく、ドライバーの安全運転をサポートする「ドライビング・アシスト機能」と「パーキング・サポート・パッケージ」をLODGEおよびSUITEに標準装備し、ATELIERではオプション装備として採用している。

- ドライビング・アシスト・プラス
  - ACC／アクティブ・クルーズ・コントロール（ストップ&ゴー機能）
  - 前車接近警告機能
  - 衝突回避・被害軽減ブレーキ（歩行者検知機能付き）
- パーキング・サポート・パッケージ
  - PDC／パーク・ディスタンス・コントロール（フロント&リヤ、ビジュアル表示機能付）
  - リア・ビュー・カメラ（予想進路表示機能付）
  - パーキング・アシスト

ドライバーをサポートするBMW iの先進的な繋がる機能について

新型BMW i3は、ドライバー、クルマ、それらを取り巻く周辺環境をITネットワークでつなぐ総合テレマティクス・サービス「BMWコネクテッド・ドライブ」を搭載している。「BMWコネクテッド・ドライブ」は、「BMW SOSコール」「BMWテレサービス」「BMW iリモート・サービス」の機能により、ドライバーをサポートする。

- BMW SOSコール
  万が一の事故発生時に、車両の通信機能を介してコールセンターに接続し、救急や消防といった早急な手配が可能となる。
- BMWテレサービス
  車両のメインテナンスやバッテリー電圧の低下といった情報を、自動的にBMW正規ディーラーに通知する。
- BMW iリモート・サービス
  スマートフォン専用のBMW iリモートAppを使用することで、遠隔での車両操作や、充電状況などの車両データ確認が可能になる。走行開始予定時刻にあわせて充電をスタートさせたり、乗車前にエア・コンディショナーのスイッチを入れておくことが可能である。さらに、現在地周辺で利用可能な充電ステーションを表示する機能が搭載されている。

BMW iのコンセプト「次世代プレミアム」について

BMW iは持続可能性（サステイナビリティ）に関する目標を開発段階で設定し、コスト、重量、および品質に関する目標と同様に扱うという、新たな取り組みを導入したブランドである。そして、BMWが提供する「プレミアム」とBMW iの「持続可能性」という2つの要素を両立させる新しいプレミアム・カーとして、「次世代プレミアム」というコンセプトを掲げている。素材の選

択、サプライ・チェーン、車両リサイクル等のすべての面において持続可能であることを目指し、自動車業界の前例にとらわれることなく、挑戦を続けている。BMW のライプチィヒ工場では、徹底した資源消費量削減に取り組み、従来までにエネルギーや水などで各々50%～70%削減している。また、工場の敷地内に風車を設置し、生産用の全電力を再生可能エネルギーで賄っている。
炭素繊維を生産している米国ワシントン州のモーゼスレイク工場も、全電力を地元の再生可能な水力発電で賄い、CO2 排出ゼロを実現している。製品面では、BMW i3 とBMW i8 のインテリアで使用されるレザーのなめし行程で、牛皮のなめし剤として従来廃棄されていたオリーブの葉の油出物を有効活用している。また、BMW i3 のダッシュボードやドア・パネルの一部に天然素材のケナフ麻の繊維を採用し、環境にやさしい天然素材のユーカリ・ウッドを効果的に採用している。このようにBMW i の車両は、開発と生産から資料とリサイクルまで、ライフサイクル全体において持続可能な製品となっている。

主な車両諸元

- BMW i3
  全長 4,020mm、全幅 1,775mm、全高 1,550mm、ホイールベース 2,570mm、車両重量 1,300kg、車両総重量 1,520kg、一充電走行距離（JC08 モード）390km、最高出力 170PS（125kW）/5,200rpm、最大トルク 250Nm/100-4,800rpm

- BMW i3 レンジ・エクステンダー装備車
  全長 4,020mm、全幅 1,775mm、全高 1,550mm、ホイールベース 2,570mm、車両重量 1,420kg、車両総重量 1,640kg、直列 2 気筒 DOHC（発電用エンジン）、ハイブリッド燃料消費率（JC08 モード）24.7km/L、最高出力 170PS（125kW）/5,200rpm、最大トルク 250Nm/100-4,800rpm

この件に関する読者および視聴者からのお問い合わせ先は、
BMW カスタマー・インタラクション・センター：フリーダイヤル 0120-269-437 を
ご掲載ください。
受付時間: 平日 9:00-19:00／土日祝 9:00-18:00
BMW インターネット・ウェブサイト：http://www.bmw.co.jp

この件に関する報道関係者のお問い合わせは：
BMW Japan Corp. 広報室：03-6259-8026（製品広報）